

# ギボシ端子の圧着方法（かしめ方）

## 誰にでもわかりやすいギボシ端子の圧着方法

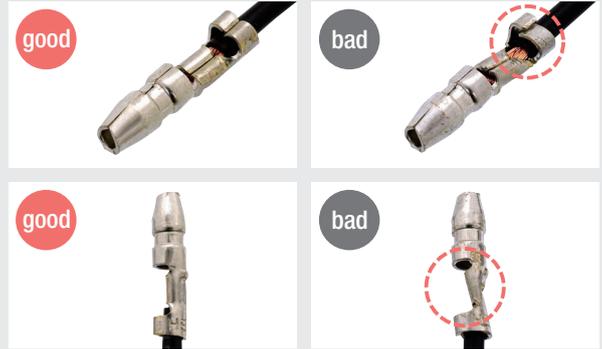
かつてギボシ端子や圧着工具は業務用でしたが、最近是一般の方が使用されるケースが増えてきました。

ギボシ端子の圧着（かしめ方）は正しい知識と熟練が必要です。

**不完全な圧着は接触不良や断線を引き起こします。**

そこでヒーロー電機は、「誰にでもわかりやすい」をコンセプトに本マニュアルを作成しました。

※今回はギボシ端子 オス(品番：B-1)を例にご紹介いたします。



## 手順1 製品の準備

ここではFRH-07（絶版）を使用します。

### 圧着工具 FRH-07（絶版）



防水用ゴム栓（ワイヤーシール）の圧着

非防水被覆押さえの圧着

芯線圧着部  
 0.30mm<sup>2</sup>  
 0.50mm<sup>2</sup> ~ 0.85mm<sup>2</sup>  
 1.25mm<sup>2</sup> ~ 2.00mm<sup>2</sup>

端子芯線圧着部の大きさに合わせて  
 圧着部の歯型を選んでください。  
 （数字はあくまで目安です）



ワイヤーカッター

電線の被覆剥き

圧着完了確認部

使用電線のサイズに  
 合わせて被覆を剥きま  
 すと芯線にキズがつか  
 ません。

用途	オープンパレル端子、防水コネクタ用端子、ワイヤーシール、スプライスの圧着
圧着範囲	0.30mm <sup>2</sup> ~ 2.00mm <sup>2</sup>
重量	0.25kg
全長	235mm